

# 懇親会ポスターabstract

September 30, 2021

## Facilitating IgG FcRn analyses

本研究では FcRn のビオチンキャプチャーと抗体相互作用のシングルサイクル法を組み合わせたアッセイセットアップについて説明しています。oH 依存性を容易に分析できる Dual/ABA injection の仕様についても紹介します。抗体と FcRn の結合様式は avidity により不均一なので、Sensorgram comparison も駆使した解析を実施しています。

## Series S Sensor Chip Prisma

Prisma chip は、抗体の濃度測定に利用できるセンサーチップとして新たに登場しました。Prisma は MabSelect Prisma レジンで用いられているものと同じ分子が利用された Protein A 変異体です。従来の Protein A と同様に多くの哺乳類抗体と結合し、特にヒト IgG<sub>1</sub>, IgG<sub>2</sub>, IgG<sub>4</sub> に対して安定に結合します。Protein A との違いは V<sub>H</sub>3 に強く結合することであり、逆にこの性質のため Kinetics 解析などには向きません。この White Paper では細胞培養上清の抗体濃度の測定やダウンストリームのプロセス条件の最適化に利用しています。

## Insight for T200

Biacore T200 には標準の解析ソフトである Biacore T200 Evaluation Software がありますが、一方で Biacore 8K/8K+や Biacore S200 でも利用可能な共通の解析ソフトである Biacore Insight Evaluation Software (以下 Insight) も利用可能です。Insight では T200 Evaluation Software にはない解析機能があったり、PowerPoint や Excel へのエクスポート機能が非常に充実しており、ご利用いただくと非常に便利な機能が満載です。ここではその機能を簡単にご案内いたします。

## ÄKTA pure micro & Micro kit

微量精製用にデッドボリュームを最小にした ÄKTA システム、ÄKTA pure micro が ÄKTA pure のラインナップに加わりました。カラムの高分離能を活かしたままフラクションが可能のため、クライオ電顕用のサンプル調製や少量サンプル精製におすすめです。また、お手持ちの ÄKTA pure 25 M をアップグレードして、ÄKTA pure micro と同じ仕様にできる Micro kit もご用意しております。